

ヤンバルトサカヤスデの まん延防止に御協力ください

ヤンバルトサカヤスデとは？

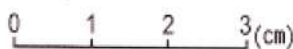
- 奄美地域や南薩地域などで発生しているヤンバルトサカヤスデは、農作物に被害を与えたり人に害を及ぼしたりすることはありません。
- しかし、繁殖力が強く、おびただしい数で集団移動したり、ブロック塀や壁をよじのぼったり、家屋の中に侵入したりすることから、強い不快感を与えるものです。



◆在来種のヤスデ



体長/2cm内外
色/黒褐色



◆ヤンバルトサカヤスデ



体長/2.5cm~3.5cm
色/黄褐色~茶褐色



ヤンバルトサカヤスデの一生

- 卵→幼虫→亜成体→成虫と発育し、一生は約1年余です。
- 交尾期は10月～11月頃で、交尾後約1か月で産卵します。
- 集団移動時期は、年に2回あり、4月～6月頃に幼虫の集団移動、10月～11月頃には、成虫の集団移動が起こります。
- 湿度の高い雨上がりの夜によく集団移動します。

まん延防止対策

ヤスデのまん延は、棲息地域からの樹木等の移植の際に土や堆肥などとともに、卵や幼虫が人為的に運ばれることがもっとも大きな原因であるといわれています。

- 棲息地域からの園芸樹木等の根付き植物の持ち出しは極力避けるようにしましょう。
やむを得ず持ち出す場合には、株もと・根回りの土壤にジョロ等を用いて薬剤を十分に注ぎ込みましょう。
- 鉢物についても、ジョロ等を用いて同じような処理をするか、また鉢全体を薬剤に浸すなどの処理をしましょう。
- 宅配便を利用して、根付き植物を送る場合も、同様の処理を行いましょう。
- 堆肥、敷わら、茅、芋づる等や土木工事等に伴う土砂等をやむを得ずヤスデの棲息地から搬出する場合は、搬出現場で薬剤処理や燻蒸処理をしましょう。

ヤンバルトサカヤスデの防除方法

● 環境整備 ●

ヤスデは、餌となる落葉などのあるところや、日当たりの悪い湿気のある場所を好みます。ヤスデの棲息しにくい環境づくりを地域で、一体となって繰り返し実施することが重要です。

- 土手の草払いや下草刈りを徹底し、日当たりをよくし、暗く湿った場所をつくらないようにしましょう。
- 側溝は周辺も含めて清掃を徹底し、ヤスデが入り込まないようにして、雨水に流れて移動することを抑制しましょう。



● 侵入防止 ●

ヤスデは集団で移動したり、壁や塀をよじ登ったり家の中に侵入したりします。

- ヤスデは表面がツルツルした所は進めません。
ロウ(蠟)テープやステンレス板を家屋の周り(柱や壁など)に張ることで侵入を防止することができます。
(「ヤスデ返し」の設置)
- ヤスデは薬剤に弱いといわれています。
家屋の周りに殺虫剤を散布しておくことで侵入を防止できます。



ヤスデ返し

● < 除方法 ●

ヤスデは、農作物に被害を与えたり、人に害を及ぼしたりしません。

- ヤスデの幼虫(春先から初秋頃)は成虫と比べ日光や乾燥、体への刺激に対しても弱いので、田畑の掘り起こしや下草払いを行いましょう。
 - ・ 奄美地域: 11月～6月頃
 - ・ 南薩地域: 1月～8月頃
- 薬剤散布時期は、ヤスデが地上で活動する時期が効果的です。
 - ・ 奄美地域: 4月頃～
 - ・ 南薩地域: 7月頃～



※ヤスデは外界から刺激を受けるとシアン化合物を含むガスを発生すると言われていいますので、焼いたり熱湯をかけたりするのはやめましょう。

詳しくはお住まいの市町村役場又は
県廃棄物・リサイクル対策課(099-286-2594)にお問い合わせください。

